

高校生に科学の楽しさを伝えたい

● 高大連携による出張講義 高校の受け入れ授業

理科大教員が高校に出向く出張講義と、高校生が理科大へ訪問する受け入れ授業が行われています。高校生が、講義や実験学習によって、学問・研究への意欲と関心を深め、進路選択の一助になることを目指しています。



生涯学習の輪を広げたい

● 教育・文化講演会

理科大の生涯学習センター主催で、社会貢献の一環として平成7年度から始まった教育・文化講演会。様々な企画で、楽しく、ためになる講演会を行っています。今後も講演を実施していきます。講演情報は、理科大ホームページをご覧ください。



地域産業を活性化したい

● 研究室公開

地域に研究室を公開し、研究内容を紹介しています。産学官の連携強化や理科大の研究成果を知的財産として還元し、地域産業の発展に役立つことを目的としています。今年度は、工学部、共通教育センターが研究室を公開しました。新技術・新産業の創出に努めていきます。



地域ともっと結びつきたい

● ボランティア活動

理科大生にとって、ボランティア活動は地域貢献だけでなく、社会人として必要な「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」を養う機会となっています。地域のまつりや行事に参加したり、清掃活動を行ったりして、地域との絆を強めています。



地域の企業と連携し、学科をこえての活動やプロジェクト。未来のエンジニアを育成。

■ 電力システム開発プロジェクト — 小規模電力システム構築によるスマートユニバーシティの実現 —

理科大発電所では、学内にソーラーパネルを設置。活動は、太陽光発電班、風力発電班、蓄電班等のチームに分かれ、それぞれのシステムを調査・検討。各種発電所や工場等の見学会や勉強会など、学内を飛び出して幅広く学びます。将来的には、大学内の電力を全てまかなえるシステムの構築を目指します。

